



とみさとトイズクラブのみなさん

Contents

＜おもちゃ文化を通じて、人と人をつなげる＞
とみさとトイズクラブ

＜サポートセンターからのお知らせ＞
交流スペース&キッズコーナー
市民活動団体情報コーナー

＜とみさとの魅力みつけた！＞
ちい寄附賛同店

おもちゃ文化を通じて、人と人をつなげる

時代の移り変わりと共に、人との関わり方も多様化してきました。そうした変化に合わせながら、おもちゃ文化を通じて、大人と大人、子どもと大人をつなげ、人と関わることの大切さ、地域と関わることの楽しさを広めている「とみさとトイズクラブ」取材しました。

周りの人たちからの期待と協力があって

とみさとトイズクラブは、おもちゃ工作、ダンボールハウス、昔遊び体験や交通模型展示会など、子育て支援や地域交流の場で活動しています。

まだ市民活動団体として設立する前の平成22年9月、車と電車の模型が趣味の佐藤さん(初代代表)は、同じ趣味を持つ友達と一緒に、日吉台の富里北部コミュニティセンターで交通模型の展示会を開きました。

当初は市民活動という考えはなく自分たちの趣味で行いでしたが、その日の来場者数は200人を超え大変賑わいました。ただ模型を見るだけに留まらず来場者間に交流が生まれ、人と人とのつながりを生む展示会となったのです。

その後、地元自治会や商店会の人たちから、「また開催して欲しい」との声がたくさん寄せられました。しかし、資金面の関係から展示会の開催は簡単ではなく、しばらくは動きのない時間が過ぎました。



交通模型の展示会



夢中になって遊ぶ子どもたち

最初の展示会から3年後の平成25年、市の市民活動支援補助金制度があることを知った佐藤さんはその制度を活用し、市民活動団体「とみさとトイズクラブ」を6人の仲間とともに設立。その年の9月に、ようやく展示会を開くことができました。

子どもたちから感動とやりがいを

設立当初は、交通模型の展示会だけでなく、会員各々が得意なことを活かしたフリーマーケットやおもちゃクリニック、子どもたちとの外遊びなどを行っていました。

その後は、未就学児の子育て支援に参加したり、イベントや公共施設で未就学児から小学生までの子どもを対象に、コマ回しや紙鉄砲などの昔遊び、ダンボール遊びなどの活動をしています。

現在は会員数も17人に増え、学童保育や放課後子ども教室、子ども食堂、末廣農場でのイベント参加など、活動の幅を広げています。

子どもたちと一緒に遊ぶことで、子どもたちが示す興味や、思わぬ発想に成長を見ることができます。また、「子どもたちが喜ぶ姿や笑顔から感動ややりがい、生きがいをもらっています」と会員の皆さんは口を揃えます。

サポートセンターからのお知らせ



交流スペース & キッズコーナー

おしゃべりに、ちょっとした打合せにご利用ください♪

市民活動サポートセンター内には、どなたでも利用できる交流スペース、キッズコーナーがあります。
飲食もできるのでお気軽にご利用ください。



否定しない、とりあえずやってみる楽しさ

設立から12年になるとみさとトイズクラブですが、長く続けていく上で会員の皆さんが大切にしていることがあります。それは「否定しないこと、挑戦すること」です。

会議では、否定し合うことなく、相手の意見を肯定し、とりあえず挑戦することを活動の軸にしているそうです。時には失敗することもあります。失敗を恐れず思いついたことは口に出して実行する。実現が難しそうなものでも、お互いの技術を活かして協力しあい、そうやって会員同士の発想を楽しんでいます。

また、その考えは会員同士の話し合いの場に留まらず、子どもたちと触れ合う活動の場でも大切にしています。子どもたちがダンボールを使って工作するときは、手助けをすることはあっても、工作の手を止めさせたりせず、自由に作るのを見守っています。



定例会議の様子

会員の一人である後藤さんに会の良さを聞いたところ「会員みんな個性的で、活動のことを一生懸命考えている。大人からも子どもからもいろいろな発想が出てくるが最終的には不思議とまとまる。そこが面白い。」と話してくれました。



初めての竹馬遊び

まだまだやりたいことがたくさんある

今後の目標は、もっと他の団体と交流し、市民活動をより楽しんで続けていくことです。若い世代につなげ、より新しい発想を取り入れることも必要です。

そのためにも、活動の依頼があれば出かけて行って子どもたちと触れ合ったり、イベントの機会があれば積極的に参加していきたいそうです。会員のなかには、子どもたちが好きな時に遊びに来ることができる常設の「段ボールタウン」を作りたいという夢を持っている人もいます。

「楽しくなければ長続きしないので、『自分たちも楽しもう』を信条に活動している。今後もいろいろなアイデアを活かし創造的な取り組みをしていき、おもちゃ文化を通じて市民交流・市の活性化に貢献していきたい」という現代表の矢澤さんと会員の方たちの思いは、おもちゃ文化を通じて広がっていきます。

サポートセンターからのお知らせ



市民活動団体 情報コーナー

こんな活動があったの！？ やりたいことが見つかる！

市民活動サポートセンター内にある、まちの課題解決に取り組んでいる市民活動団体の情報コーナーです。

環境保全、子育て支援、高齢者支援、障がい者支援など団体別のファイルを手にとってみてください。興味のある活動が見つかるかもしれません！



とみさとの魅力み一つけた！

富里の魅力ある「人」「場所」「文化」などに
スポットを当てて紹介していきます。

ちい寄附賛同店

右の写真にある寄附箱をご覧になったことはありますか。
「ちい寄附」といって、市内で地域課題に取り組む市民活動団
体の活動を支援するための寄附箱です。寄附付きの飲食や商品
を購入することでも支援できます。

富里の魅力あるまちづくりを応援するお店がまた増えました。
新たに「ちい寄附賛同店」に加わった3店舗を紹介します！



Kファーム富里



ブルーベリー狩り、ハーブ
園、BBQが楽しめるKファーム
富里は、今年7月にオープンし
たばかり。自然の中でのんび
りと、家族や仲間と気軽に楽
しめる場所を目指しています。

「収穫体験やおしゃべりだ
けでも大歓迎！気軽に遊びに
来てください」とオーナーの
國本さんが待っています。

富里市中沢898
090-9363-8285

JA富里市 旬菜館



富里の採れたての野菜が店
頭に並ぶJA富里市 旬菜館。新
鮮な野菜を求めて多くの方が
来店します。

課長の小原さんは「富里産
にこだわった豊富な品揃えを
心掛けています。また、閉店
まで品物を切らさないことに
力を入れています。」と旬菜
館の魅力を語っていました。

富里市七栄652-225
0476-91-0520

JA富里市 ひよし館



富里インターから近いこと
もあって、スイカの時期には
県内外から大勢のお客さんが
集まるJA富里市 ひよし館。

「富里はスイカだけではなく、
栄養たっぷりの人参も有
名です。是非、人参もよろし
くお願いします！」と店長の
岡村さんからのメッセージで
す。

富里市七栄532-305
0476-90-3331

コーディネーターのひとりごと

子どもの頃の遊びと言えば、空き地で缶蹴
り、三角ベース、葉っぱや石でおままごと。
弟と一緒にめんこやベーゴマもやったなあ。
昭和感たっぷりの遊びの記憶には、土や草
のにおいまで染み込んでいる、何十年前も前
のことでした。 (とら子)

SNSアカウント



<連絡先>とみさと市民活動サポートセンター

〒286-0292 千葉県富里市七栄652番地1(富里市役所 すこやかセンター1階)

■Tel/Fax:0476-93-4123 ■E:tomisapo@bz04.plala.or.jp

登録団体数：94団体(11月1日現在)

年4回発行 発行部数：2500部 配布先：市内公共施設 他

